

読む人の幸せを心に願つて作る

喜びのタネまき

新聞

No.
654

へ先人の皆様に感謝へ

ひと月の間に、ダスキン創業者 鈴木清一と深いご縁があり、ダスキンの創業期を支えてくださった3人の方が他界されました。その方々との出来事を思い出し、深い悲しみを感じています。

ダスキンは来年60周年を迎えます
が、60年前はゼロからのスタートでした。そんな時代に鈴木清一を信じ、加盟店や協力者としてご縁をいたいたい、その方々のおかげで今日のダスキンがあるのだと思います。

過去は事実。現在は進行中。未来は未定。過去があつたからこそ今があり、未来へとつながるのだと思うと、今につないでいただいた方々への感謝の気持ちでいっぱいになります。

過去を変えることは出来ません。また、未来のことは誰にも分からず、良いこともあれば、時には大変なことが起こるかもしれません。
それでも私たちは、「今」を生きています。今時間大切にし、少しでも周囲の人のお役に立つことが出来れば、より良い未来へとつながるのではないかでしょう。

改めて今の自分自身があることへの感謝の気持ちを大切にし、そして、しっかりと未来へつなげいかなければならぬと感じました。

株式会社ダスキン会長

山村輝治

※イラストはイメージです



新潟県

美人林の紅葉

幹が真っすぐに伸びた美しいブナが並ぶことから
美人林と呼ばれ秋には紅葉が林一面を彩ります。



雪の日には建物の1階が雪で埋まることが多いという松之山温泉郷



志賀さんの手から生まれた野鳥こけしは美しく、優しい風合い



筆で何度もなでるように綿を貼る。ひと冬で作れる数は400羽ほど



全24種類のうち20種以上が、野鳥の宝庫と呼ばれる松之山に飛来・生息する野鳥

野鳥や こけしちよう

雪深い集落の
温かい手で生まれた



「松之山の鳥」と呼ばれるアカショウビン(手前)をはじめ、
全て実際の野鳥がモデル

本物そっくりで驚く

お母さんたちの手仕事

新潟県南部に位置し、上杉謙信の隠し湯としても知られる十日町市松之山温泉郷。野鳥の宝庫と呼ばれる自然豊かなこの地で作られているのが「野鳥こけし」です。真っ赤なアカショウビンをはじめ、メジロやトキなど種類も豊富で、その大半が松之山で見られる鳥だといいます。

驚くのは、本物と見間違うほどの精巧さです。やわらかな毛並みや、ふっくらした体の曲線、まるで生きているかのような表情に、今にもさえぎりが聞こえます。昔の女性たちにとって、野鳥こけしづくりは貴重な内職でした」と、教えてくれたのは作り手の志賀マスエさん。以前は集落ごとに婦人会によって講習会が開かれ、こつに入りながら作るのが冬の習慣だったそう。

野鳥こけしは、針金に糸を巻いて「足」を作る人、鳥によって形の異なる「くちばし」を作る人など、パツツごとに作り手があります。

こえてきそうです。

一羽一羽丹念に作っているのは、松之山に住むお母さんたち。「ここでは、冬になると家を覆うほどの雪が積もります。す

ると仕事にも行けなくなってしまう」と、教えてくれたのは作り手の志賀マスエさん。以前は集落ごとに婦人会によって講習会が開かれ、こつに入りながら作るのが冬の習慣だったそう。

野鳥こけしは、針金に糸を巻いて「足」を作る人、鳥によって形の異なる「くちばし」を作る人など、パツツごとに作り手があります。

分かれています。志賀さんは、パーツを組み立て、張子の表面に綿を貼る仕上げの担当。色鮮やかな綿を小さくちぎりながら、種類の違う糊を使い分け、筆でなでるようになります。そして微調整を繰り返すうちに、ふっくらとした体つきに。志賀さんは手早く作業を進めますが、「この滑らかさを出すのが、本当に難しいんですよ！」と周囲の方々は感嘆の声を漏らします。「夏は農作業の手に、冬は自然と野鳥こけしの手になつていい付かない状況だといいます。『時代が変わり、交通の便も良くなつた分、内職よりもパートで働きに出る人が増えて、後継者不足が心配です』と話すのは十日町市観光協会の村山祥子さん。また、野鳥こけしの尾に使う鳥の羽根も、以前はどこ家の鶏や鴨を飼っていたため手軽に手に入れられたそうですが、最近は入手困難なのだそう。

しかし、野鳥こけしを作つてみたいという声も多く、松之山では制作体験や公民館での講習会を定期的に行っています。また、現在開催されている「大地の芸術祭」でも、体験教室を行なうと



野鳥こけしのふるさと 新潟県十日町市

新潟と長野の県境にあり、日本有数の豪雪地帯である十日町市。毎年11月頃に初雪が降り、約半年間に及んで積雪期が続きます。雪とともに生きる文化が残り、雪の下で育てる雪下にんじんや漬物などが有名です。

※「大地の芸術祭」は11月13日まで

雪深い山間の集落で、冬の手仕事として作られてきた野鳥こけし。松之山の森を飛び交う野鳥たちは、可愛い人形へと姿を変えて羽ばたき、今日も各地で人々に愛されています。

毎回多くの人が集まり、海外から訪れた人が気に入つて自国に持ち帰つたこともあります。さらに最近では制作キットを参加者の自宅に送り、オンラインでの教室も開催。コロナ禍で松之山まで足を運べなくとも、全国各地から参加出来ると人気を博しています。



2時間かけて綿を貼る体験教室。難しい!との声も

いよいよ冬の足音が聞こえてきました。
体を温める食材として知られる
生姜をたっぷり使った料理で、
寒さをおいしく乗り切りましょう。

FILE

37

いよいよ冬の足音が聞こえてきました。
体を温める食材として知られる
生姜をたっぷり使った料理で、
寒さをおいしく乗り切りましょう。

辛味を調えて味付けすれば、

食卓の主役としても大活躍。

生の生姜は、ピリッと辛みがある
て刺激的。加熱すると爽やかな
香りが立ち、肉や魚の臭みを消し
ながら、素材のうまみを引き出し
てくれます。

保存方法は、アルミホイルで包
んだり、キッチンペーパーで包んで
から保存用のポリ袋に入れたりす
る方法がありますが、おすすめは
皮付きの生姜をそのまま水に入れ
る水浸けです。使うたびに水を入れ
替えれば、長持ちしますよ。

生姜を存分に味わいたいなら、
薬味ダレはいかがでしょう。皮ごと
千切りやみじん切りにした生姜に、
醤油、酢、砂糖を合わせ、お好みで
白振りごまを加えます。30分も置
けば、生姜は水気が出てしなり
し、酢の効果で辛みはマイルドに。

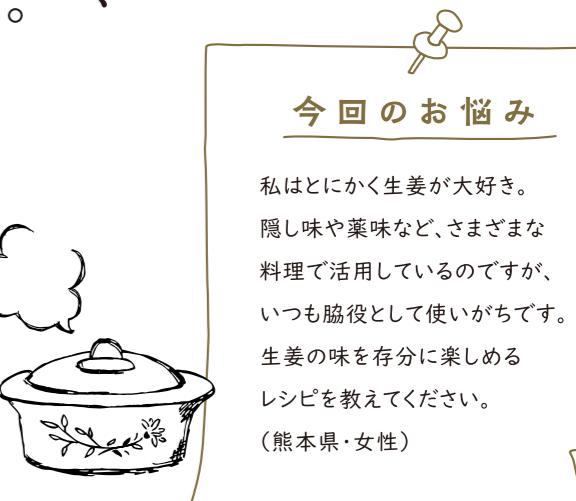
このタレは、サラダのドレッシングに
したり、焼いた肉や魚にかけたり、
焼きそばの味付けにも使えます。
釜揚げうどんに卵黄をのせて

タレをかければ、金玉うどんの出
来上がり。使い勝手の良いタレです
から、たっぷり作っておきましょう。
新生姜を使った甘酢生姜なら、
そのままガリガリザクザク味わえ
ます。肉と同量の甘酢生姜と一緒に
炒める「生姜焼き」は我が家のお定番
おかずです。



ひだかずを
飛田和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。
独自のアイデアレシピが人気。
新刊の『仕込んで、使って、一年中
楽しめる みその本』(KADOKAWA)
をはじめ、著書多数。



今回のお悩み

私はとにかく生姜が大好き。
隠し味や薬味など、さまざまな
料理で活用しているのですが、
いつも脇役として使いがちです。
生姜の味を存分に楽しめる
レシピを教えてください。
(熊本県・女性)



飛田さんの
ひとてま

甘酢漬けで辛みを適度に抜き
たいなら、薄くスライスしてから
2~3度ゆでこぼし、熱いうち
に甘酢に漬けます。翌日から食
べられます。それでも辛みが強い場合は、
漬け汁だけを鍋に移して加熱
し、沸騰したら生姜の入った瓶
に戻します。これを2度ほど繰り
返すと、辛みが落ちりますよ。

台所のお悩み事を お寄せください。

お料理について気になることや、
ちょっとしたお悩みを、飛田さんに
相談してみませんか?
お便りをお待ちしています。
宛先は裏表紙をご覧ください。



ほほえみのひろば

名前を呼ばれて

秋田県大館市 渡辺 静江さん

先日、病院で順番待ちをしていた時のことを。看護師さんから名前を呼ばれた瞬間に、びっくりして思わず大声で返事をして、周囲にいた方々を驚かせてしまいました。

私は普段、名前を呼ばれることがほとんどありません。結婚して60年あまり経ちますが、夫からも名前で呼ばれたことが一度もないのです。それでも夫婦仲は良く、喧嘩をしても翌日には仲直りをして、一緒に食事をするという生活が長年続いています。

病院で久しぶりに名前を呼ばれてドキッとしたましたが、とてもうれしかったです。



はい、
元気の良いお返事で
看護師さんも気持ちが
良かつたでしょうね。

紙飛行機に夢中

茨城県守谷市 有賀文貴さん

3年ほど前、知人が紙飛行機を作っていた仲間を紹介してくれました。

私は、子どものころにチラシで折つたらいいしか経験がなかったのですが、その奥深さを知れば知るほど夢中に。手先の器用さには自信があるので、旅客機や輸送機など、さまざまな紙飛行機作りに挑戦しています。何よりの楽しみは、晴れた日に河川敷へ行って、完成品を飛ばすことです。

今までこれといった趣味がなかったのですが、紙飛行機を折るのが面白く、これからも作り続けていきたいと思います。



童心がぐすぐられる
楽しい趣味ですね！

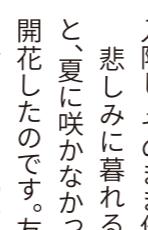


季節外れのアサガオ

京都府綾部市 出口 章子さん

花を育てるのが好きな夫は、昨年の春、家の2カ所にアサガオの種をまきました。そのうちの1カ所から、青とピンクの立派な花が次々と咲き、夏の朝を彩るように。しかし、ほどなくして夫は体調を崩して入院し、そのまま他界してしまいました。悲しみに暮れるなか迎えた11月。なんと、夏に咲かなかつた玄関前のアサガオが開花したのです。友人は「ご主人があなたに会うために帰ってきたんだね」と励ました。悲しみに暮れるなか迎えた11月。なんと、夏に咲かなかつた玄関前のアサガオが開花したのです。友人は「ご主人があなたに会うために帰ってきたんだね」と励ました。悲しみに暮れるなか迎えた11月。なんとか工事の音だったのです。

とんだ勘違いにがっかりしながらも、平家物語の再読に挑戦しようと思いました。



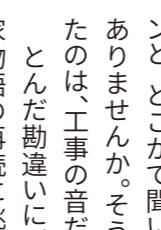
まさか工事の音だなんて！
発想の転換が
前向きで素敵ですね。

横笛の音色

千葉県柏市 遠藤 敦子さん

ある夜、ベランダに出ると、どこからか横笛の音色が聞こえてきました。笛の名手といえば、平敦盛。昔、古典の授業で学んだ平家物語の『敦盛の最期』を思い浮かべながら、しみじみと聴いていました。後日、近所を通り掛かると下水道工事の真っ最中。路面を切る工具がキーンキーンと、どこかで聞いた音を出しているではありませんか。そう、横笛の音色だと思つたのは、工事の音だったのです。

とんだ勘違いにがっかりしながらも、平家物語の再読に挑戦しようと思いました。



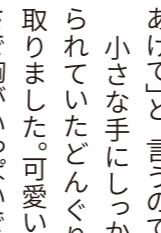
まさか工事の音だなんて！
発想の転換が
前向きで素敵ですね。

孫からのプレゼント

茨城県守谷市 有賀文貴さん

4歳の孫が、幼稚園へ向かう準備をしていました。小さな靴を一生懸命履いて、いざ出発。すると、玄関を出た途端にふと足を止めて、庭に落ちていたどんぐりを3つ拾い上げました。そして、「ばあちゃん、このどんぐりを会社に持つて行って。ばあちゃんと、父さんと、職人さんの分。渡してあげて」と、言うのです。

小さな手にしっかりと大切に握りしめられたいたどんぐりを、私は喜んで受け取りました。可愛い孫の心遣いに、愛おしさで胸がいっぱいです。



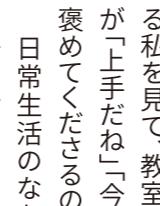
可愛らしい
秋の贈り物に
心が温まりました。

褒められる喜び

三重県津市 中林 佐恵子さん

少し前から、卓球教室に通っています。それまでは家族と温泉旅館で遊ぶ程度だったので、ラケットの正しい持ち方や振り方を覚えるのが大変で、なかなか上手に出来ませんでした。しかし悪戦苦闘する私を見て、教室の先輩やスタッフの方々が「上手だね」「今のラリーはすごい！」と、褒めてくださるのです。

日常生活のなかで、褒められる機会はなかなかないもの。久しぶりに褒めてもらえて、とてもうれしくなり、ますますやる気が込み上げてきました。



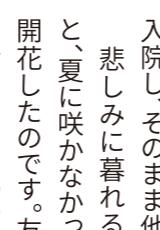
和気あいあいと
楽しそうな様子が
伝わってきます。

愛の輪通信

茨城県守谷市 有賀文貴さん

言語の壁に直面し、決して順風満帆ではなかったアメリカでの1年間。ですが、異文化の風を感じ、音を聞き、においを嗅ぎ、味を楽しみながら、研究や音楽、アートなどにふれたことは貴重な経験でした。そして何よりも、眩しいほど的情熱を燃やす方々と出会い、心揺さぶられたことが、私にとって大きな財産となっています。

現在、パートナーとしてともに歩んでいる山村優子さんは、当時そんな刺激を与えてくれた音楽家の一人。これからも心の炎を絶やすことなく、全力で音と言葉を放ち続けます。



和氣あいあいと
楽しそうな様子が
伝わってきます。



愛の輪は、日本とアジア太平洋の地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

06-6821-5270



私は普段、名前を呼ばれることがほとんどありません。結婚して60年あまり経ちますが、夫からも名前で呼ばれたことが一度もないのです。それでも夫婦仲は良く、喧嘩をしても翌日には仲直りをして、一緒に食事をするという生活が長年続いています。

病院で久しぶりに名前を呼ばれてドキッとしたましたが、とてもうれしかったです。



はい、
元気の良いお返事で
看護師さんも気持ちが
良かつたでしょうね。

甘んじて、自分がいたわりながらも、

そんな時こそ、自分が困らせる結果に

自分のまいだタネで、自分が苦しむ事があります。

しかも善意でやった事が、時流れでは、

自分を困らせる結果に

なる事だってあります。

そんな時こそ、自分がいたわりながらも、

自分が苦しい立場を引き受けましょう。

自分がいたわりながらも、

自分が苦しい立場を引き受けましょう。

みて もらお!

読者の皆様からお送りいただいた
素敵なお写真をご紹介します。



子どもたちの七五三♪
大阪府泉南郡 佐々木 恵理さん



愛犬たちと紅葉狩り♪
岐阜県多治見市 松原 好美さん



秋色に染まる甲州街道
東京都八王子市 菊地 安江さん



ひ孫の成長をお祝い!
石川県小松市 吉田 昭彦さん

ダスキンといっしょに始めよう!
エス ディー ジーズ
SDGsかるた

しつかりと
手洗い・うがいで
感染予防



解説
「すべての人に健康と福祉を」もSDGsの目標。
自分のために、そして人にうつさないためにも
予防が大切です。

あなたのお便りや写真をお寄せください

◎送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

うれしかったことや、誰かに聞いてもらいたいことなど、
身近な話題をお寄せください。心よりお待ちしています。

◎お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- ご紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- 作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、ご返却は致しかねますのでご了承ください。
- 本号は、2022年9月に制作したものです。状況によって記載内容が変更となる場合がございます。

● パックナンバーはこちらから!

No.419からのパックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。
<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



● 引越しのおそうじにはダスキンモップが便利!

引越しのお手続きは
担当店・Webページ・0120-100100まで



株式会社 ダスキン

発行・編集: 広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配達業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン・コータクトセンターまでご連絡ください。

0120-100100 www.duskin.co.jp

61-9C 2022.11 3272300